

国名と都市：シンガポール

出張者：貿易投資部 上岡美智子貿易投資プロジェクトマネージャー（貿易）

伊藤威子貿易投資プロジェクトオフィサー（貿易）

リソースパーソン：株式会社 GK インダストリアルデザイン 代表取締役 社長 朝倉重徳審査員

公益財団法人日本デザイン振興会（JDP） 薛萌 事業部プロジェクトマネージャー

相手国協力機関：シンガポールエンタープライズ、シンガポールデザインセンター

出張期間：2018年3月7日-3月9日

● 事業趣旨

「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2017-18」は、日本アセアンセンターと日本デザイン振興会との連携によって、アセアンの零細中小企業におけるデザインスキル向上支援並びにアセアン各国の創造性豊かな企業の国際展開を支援することを目的に実施している。これまで両者は、「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2003-05」「グッドデザイン・メコンセレクション 2014-15」を実施してきた。シンガポールについては 2003 年から 3 年間の事業で 3 社がアセアンデザインセレクション賞を受賞している。

● 訪問内容

2018年 SG-mark^注受賞者の中から、プラチナ賞1社、及びゴールド賞3社及び特別賞の対話審査が行われる日程に併せて、「グッドデザイン・アセアンセレクション 2017-18」の「推薦候補の選択」にあたった。2018年度は30社から67点の SG マーク受賞作品があった。国立デザインセンターにおいて2018年3月8日-9日の2日間、日本、台湾を含む5名の審査員により、プラチナ、及びゴールドの選定し、日本から派遣された朝倉重徳審査員が、アセアンデザインセレクション賞を選定した。また、当センターのカウンタパートであるシンガポールエンタープライズ・北東アジアオセアニア担当の Mr. Khen Gee Tan 事務官も立ち会った。

・ 1日目：30社によるプレゼンテーション

・ 2日目：企業訪問と推薦候補選び



● シンガポール

場所：国立デザインセンター

候補プロダクト数：67

訪問企業数：3企業

● 第一審査結果

合格：3企業



チャンギエアポートグループ会社 ターミナル4 Changi Airport Group (Singapore) Pte Ltd. Terminal 4

評価ポイント：システム

シンガポール/ チャンギエアポート/ ターミナル4 自動化ゲートは、チェックインキオスク、自動手荷物預け機、出国審査ゲートを無人で操作でき、その先の機内持ち込み手荷物検査も完全ではないが、無人に近い環境で通過できる一連のシステム。手荷物検査ではCT スキャンの導入で画像の回転が可能になり、不便だったPC等を外に出す作業もなくなった。このようなシームレスな自動化システムの実現によって、煩雑な手続きや列に並ぶことなど、飛行機利用者にとっての大きな心理的ハードルが軽減された。空港の自動化は世界的なトレンドだが、チャンギエアポート/ ターミナル4 では「実



Changi Airport's Terminal 4 opens: It's check-in to boarding



験場」という位置づけを持ちながら、世界に先がけて新しいシステムを取り入れていく姿勢も高く評価された。

シンガポール・シビルデフェンスフォース Singapore Civil Defense Force (SCDF) myResponder

評価ポイント：ビジネスモデル・デジタルソリューション

myResponder は、近くの緊急事態をコミュニティボランティアに通知し、緊急サービス(救急車)の到着前に、最も重要な最初の数分間を支援できるようにするシンガポール政府/The Singapore Civil Defense Force – The Lifesaving Force によるモバイルアプリ。クラウドソーシングを使った単純な設計だが、コミュニティボランティアの高い意識と、受け皿となるシステムの構築によって、実際に人の命が救われているところが評価された。これまでに心停止事例として9人の命が救われており、今後は消防など他の緊急事態の対応にも広がる可能性が期待できる。



デル シンガポール DELL Singapore (Experience Design Group)

評価ポイント：プロダクト

シンガポールでデザイン開発されたグローバル市場向けのゲーム用モニター。没入感を得るための曲面スクリーンを特徴とし、精度感のある角度調整機構、安定した台座、ケーブルの処理など、様々な要素がディテールまでよく考慮された、ゲーム市場の中で今までになかった高い品質の製品。外観はゲーム仕様を考慮した強い主張を持ちながらも、決して癖が強すぎることなく節度を持ってまとめあげられている。エンターテインメント領域においては、個人の趣味嗜好が大きく影響することもあり、社会性などを含めた総合的なデザインの評価は難しいが、機能、使い勝手、造形、仕上げなどゲーム以外の用途でも十分に通用する高い品質が評価された。



- 朝倉重徳審査員からの所感：

社会の変化を背景にデザイン領域の拡大が進んでいる。かつては、形あるものの外観が対象だったが、今では背後にある考え方や関係性、さらには仕組みや取り組み、アプリケーションなど形のないものもデザインとして捉えるようになった。これはデザインが文化的価値だけでなく、社会的価値や経済的価値を持つようになったということである。このような状況を背景に、選ばれたアイテムを見てみると、ゲーム用モニターは外観での評価だが、myResponderは「取り組み」と「アプリケーション」が、自動化ゲートは「関係性」や「システム」が評価され、デザイン領域拡大の潮流に乗っていることがわかる。これは、シンガポールがデザインの価値を理解し、産業競争力の強化に効果的に活用している証で、短期間に世界有数の観光立国になり、ICT先進国に成長していることは、その結果の表れといえる。

- 薛萌 事業部プロジェクトマネージャーからの所感：

シンガポールは、貿易、加工輸出、航空輸送などを含めて、東南アジア最大の海港であり、貿易を中心とした重要な商業都市であり国際金融の中心となる国である。この背景から生まれた様々なデザインプロジェクトは、このような特徴を非常に強く反映している。チャンギエアポートのターミナル4は、東南アジアとして最も重要な中継空港で、航空センターとして質の高いサービスと素晴らしい体験を提供する具体例である。多くの公用語を持つ多民族国家のシンガポールは、公共サービスをより迅速にかつ有効に実施している。たとえば、シンガポールのSingapore civil defense (scdf) myresponderというサービスは、非常に良い事例である。最も重要な中継貿易都市として、加工製造業も根強いが、世界的に有名な企業がシンガポールに研究開発センターを設立し、またデザイン本部を設置している。シンガポールが東南アジアの金融・情報・貿易を中継するハブの位置付けとして、Dell Singapore(experience design group)から立派なデザインが誕生するが当然である。

- 全体の総論：

デザインシンガポールカウンシルは、2025年までにデザインを通してシンガポールをLoveable cityとして変革させ経済効果につなげることを目的に2003年にスタートした。「ユネスコクリエイティブシティデザイン(UNESCO Creative City of Design)」に基づき、“より良い市民生活”を手に入れるため、デザインをツールとしてシンガポールの経済改革・発展に貢献しようとした国家プロジェクトだ。プロダクト自体より都市構想を含むデザイン改革の為、クリエイターの養成にも力を入れた。その結果、シンガポールは2015年12月に“UNESCO Creative city of Design”に指定された。日常生活にデザイン性とクリエイティビティを統合し、環境に配慮した創造的都市に変革したことに対するユネスコからの承認だ。このようにシンガポールはスマートシティのマスタープランをいち早く打ち出し、サービスデザインイノベーションにおいては顕著に進んでいる。2016年にSGマークを取得したWOHAは、サステイナブル手法による建築設計デザイン集団として著名だ。障がい者自立支援型コミュニティ施設“Enabling Village”、高齢者ケア用公共住宅“Kampung Admiralty”などの取り組みは世界的に注目され、フランス、ドイツ、アメリカ、メキシコの展示を通じてビジネスプランを発表している。今回は、WOHAのプロジェクトのひとつでビジネスオフィスとホテルの複合施設のOasiaホテル(タンジュンパガー)を視察したが、高層ビルにグリーンを取り入れた“ガーデンシティ”を出現させている。今後はシンガポール政府機関及びクリエイター達と連携し、アセアン諸国のデザインイノベーションと発展を共同サポートでき得るような連携を期待したい。



了

注ⁱ シンガポールのデザインイノベーションと成長を目的とし、情報通信省 (Ministry of Communication and Information) の組織下でデザインシンガポールカウンシル (Design Singapore Council ・ DSG)が 2003 年に創設された。DSG の任命によってシンガポールデザインビジネス室・デザイン委員会が設置され、SG mark (Singapore Good Design Award)の募集、審査を行っている。また受賞者は、日本デザイン振興会 (JDP) と連携しており G-mark にエントリーが可能になる。